

イ 評定について

学年末評価と同様とする。

ウ 反省・評価について

自由記述については、評価対象のすべてにわたって記入することを原則とする。

③ 評価結果の集計・処理

評価対象ごとに、各段階の人数を集計し、平均点を算出する。算出の仕方は、学年末の評価と同様である。

ア 反省・評価の整理

記入されている事項を整理し、「継続すべき点」と「改善すべき点」にまとめる。

イ 経営改善考察資料表の作成

これまでに整理された結果を学期末用集計票-E票-「経営改善考察資料表」としてまとめる。その際、各評価対象の評定結果の平均をもとにプロフィール化し、全体の傾向や自校の長所、短所などを客観的にとらえるよう工夫し、問題点、改善点、原因などの考察判断の資料として活用する。

なお、「教育課程経営改善考察資料表」の様式及び、その記入例の一部を抜粋し、表10としてまとめて載せた。

表10 教育課程経営改善考察資料表（学期末集計表）

評価対象		評定分布				プロフィール		集計結果による改善点	
		3	2	1	平均	平均(2.5)		継続すべき点	改善すべき点
教育目標・教育課程	教育目標	教育目標の設定							
		教育目標の重点化・具体化							
	教育課程	教育課程の編成作業							
		教育課程の内容							
	指導計画	教科							
		道徳							
特別活動									
授業・活動の実際	教科	17	7	0	2.7		・授業研究の計画的な開催	・教材研究 ・週案への反省記録の記入	
	道徳	8	16	0	2.3		・副読本の共同研究	・授業時数の確保 ・年間指導計画の活用 ・主題についての事前研究 ・児童の実態の把握	
	特別活動	11	13	0	2.4		・児童会への全教師の参加	・児童の自発的な活動を促す指導 ・授業時数の確保	

全評価対象の平均点は2.5の場合 N=24 3段階評定による